

2023年12月21日

発生するCO₂を実質ゼロとみなす カーボンニュートラル都市ガスの供給について ～都市ガスで脱炭素社会の実現に貢献～

北陸ガス株式会社（本社：新潟県新潟市／代表取締役社長：敦井一友）は、リンナイ株式会社様（本社：愛知県名古屋市／代表取締役社長：内藤弘康様）とカーボンニュートラル都市ガスの供給に関する契約を締結しました。これにより、同社新潟支店（2024年1月16日新築移転予定）で使用する都市ガスの一部を、カーボンニュートラル都市ガスとして供給します。なお、「Nearly ZEB」※認証を取得している同支店では、主なガス設備として、ガス空調「ガスヒートポンプエアコン（GHP）」やガス温水式床暖房を採用いただいております。

<カーボンニュートラル都市ガスとは>

カーボンニュートラル都市ガスは、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、CO₂クレジットで相殺（カーボン・オフセット）することにより、この都市ガスを使用しても発生するCO₂が実質的にゼロとみなされます。



出典：日本ガス協会HP

2050年の脱炭素社会の実現を目指す日本では、2030年度までに2013年度比で温室効果ガスを46%削減、さらには50%削減の高みに向けて挑戦を続ける方針が示され、CO₂排出量削減の取り組みが強く求められています。そうした状況下において、化石燃料の中でCO₂の排出量が最も少ない天然ガスへの燃料転換に加えて、CO₂の排出量が実質ゼロとみなせるカーボンニュートラル都市ガスの導入はCO₂の大幅な削減に寄与します。

当社は、本年6月2日に創立110周年を迎え、新たにコーポレートスローガン「ずっと近くで、にいがたを想う。」を制定しました。今後も「カーボンニュートラル都市ガス」の普及促進に取り組み、新コーポレートスローガンの考えのもと、新潟のお客さま先におけるCO₂削減を通じて、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、快適な室内環境を実現しながら、省エネルギー設備や創エネルギー設備の導入により、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物。エネルギー消費量の削減率に応じて3段階に分類される。

『ZEB』：100%以上、Nearly ZEB：75%以上、ZEB Ready：50%以上



北陸ガス株式会社は、SDGsの達成に向けて積極的に取り組んでおり、SDGsの達成に関連するプレスリリースには、「SDGsの目標アイコン」を明示しております。

<お問い合わせ先>北陸ガス株式会社 企画グループ 担当 笹川

TEL：025-245-2214 e-mail:yoouchi@hokurikugas.co.jp